

高知市地域アクションプランの 進捗状況確認資料

高 知 市 地 域 本 部
令和8年1月23日（金）

1 地域アクションプランの令和7年度の実施状況及び令和8年度の展開(総括)

(1) 総評

令和7年度は、全14項目のアクションプランごとに実行支援チームを編成し、市や事業者と事業推進に向けた協議や進捗管理を行うとともに、各種支援制度等を活用しながらそれぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めている。

引き続き、一次産業の振興に向けた生産体制の強化や販路拡大に取り組むとともに、地域資源を活用した加工品開発や、直販所等の拠点施設の機能強化を図ることにより、地域経済の活性化を目指していく。

農業分野

日本一のグロリオサの産地である三里地区では、さらなる輸出振興に向けて各事業主体が連携して取り組んでおり、産地ビジョンの策定やフラッグシップ輸出産地への登録が完了した。令和8年度も引き続き、展覧会への参加等により流通・販売に向けたPRを行うとともに、産地ビジョンの目標達成に向けて取り組みを進めていく。

土佐山地域では、基幹品目であるユズの生産基盤の構築や安定生産に向けて、スマート農業技術の活用や地域おこし協力隊の募集等に取り組む、安定した生産体制の構築につなげるとともに、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心に有機農業の推進や有機農産物の地産外商の取り組みに力を入れた結果、新規取引先の獲得等につながっている。令和8年度も引き続き、安定生産のための現地検討会や担い手対策等に取り組む、農産物のさらなる生産拡大を図っていく。

また、地域の生産と消費の交流拠点である直販所の活性化を図るため、組合員確保に向けた要件緩和等に取り組んだ結果、新規組合員の確保につながった。令和8年度も引き続き、新規組合員の確保のための要件緩和や新制度の周知に取り組むとともに、財務分析等に基づいた経営体制の見直しも行い、直販所のさらなる活性化を目指していく。

林業分野

高知県産イタドリについては、鏡地区の苗を県内各地の栽培産地に供給するとともに、量販店やアンテナショップで加工品の販売を行っている。また、将来に向けてイタドリ事業を継続していくために、生産者と加工者で積極的に情報交換を行い、適正な取引価格や生産体制等の見直しを進めた結果、加工品の販売額は順調に推移している。令和8年度も、高知県食品工業団地事業協同組合や生産者、加工者等で設立した「高知県イタドリ生産普及販売促進協議会」において、生産体制の強化に引き続き取り組むとともに、新たに、皮が剥ぎやすく収量の多い品種の植え付けを行い、平場でのさらなる生産拡大に向けて取り組んでいく。

商工業分野

春野地域において、生産農家と加工業者が連携し、ベルガモットをはじめとした農産物加工品の開発・販路の拡大に取り組んでいる。気候変動に対応した産地を形成するため、土佐ベルガモット協議会の設立や県内全域でベルガモットの連携農家の掘り起こしに取り組み、ほ場の分散と生産面積の拡大や増産体制の強化を図っている。また、県内外での各種商談会等への積極的な参加により新規取引先を獲得し、販売額が増加している。令和8年度は、他産地との差別化を図るためにGIの取得に向けた取り組みを進めるとともに、引き続き展示会等への出展によるさらなる販路開拓に力を入れていく。

竹資源の活用については、それぞれの実施主体が県産竹材を活用した素材生産の拡大等に取り組んでいる。令和8年度においても関係機関と連携し、森林保全と環境配慮型産業の推進を図っていく。

また、県都中心部の都市機能の増進と経済の活性化に向けて、高知市をはじめとする官民の各事業主体が、空き店舗を活用した創業支援サポート事業やおまち多目的広場の利活用等、高知市中心市街地活性化基本計画に位置づけられたハード・ソフト両面の取り組みを推進している。令和8年度も引き続き、商店街でのイベントの実施やインバウンド対策等により、中心市街地のさらなる活性化を目指していく。

併せて、日曜市などの街路市については、地元利用者はもとより観光客等にとっての魅力の創出に向けて、高知市街路市活性化構想に基づき、地域おこし協力隊の活用による情報発信の強化、クラウドファンディングでの貸出用テントの調達、れんげい小間における酒類販売の規制緩和等に取り組んでいる。令和8年度は、曜市150周年を記念したイベントの実施やロゴマークの公募、産業振興アドバイザー制度を活用した出店者向けのセミナーの開催を予定しており、街路市のさらなる活性化を目指していく。

観光分野

高知県の周遊拠点都市としての役割を果たすため、歴史や文化等、高知市が誇る数多くの観光資源の磨き上げや掘り起こし、県内市町村との連携による新たな観光資源や周遊ルートの開発をはじめとする広域観光の推進に取り組んでいる。

また、浦戸湾を活用した観光遊覧船の取り組みにより、県内外の観光客の誘客が図られるとともに、高知市を代表する観光地である桂浜とその周辺地域一体においては、渋滞対策の実施及び定期的なイベントの実施やナイトタイムエコノミーの取り組みに力を入れている。今後、市内にある観光地とのタイアップや観光情報の充実化等による周遊拠点としての機能強化及び県内各地への周遊促進、Park-PFIを活用した旧国民宿舎桂浜荘の運営再開による公園全体の魅力向上等により、さらなる誘客を目指す。

よさこい祭りについては、「よさこい」発祥の地としてのブランドの確立を図るため、高知よさこい情報交流館における企画展をはじめ、大阪・関西万博等の県外イベントへ参加する等、PRの強化に取り組み、観光客の集客につながっている。

令和8年度は、「よさこい高知文化祭2026」と連携した観光プロモーションや地域文化発信事業に取り組むとともに、SNSを活用したPRや賑わい創出に向けたイベントの実施等により、さらなる広域観光の推進を図っていく。

[重点] APNo.7 農産物の6次産業化による春野地域の振興

<高知市地域本部>

分野/実施地域	商工業 / 高知市
実施主体	◎(有)スタジオ・オカムラ、連携農家
APへの位置付け	H22.4月

第5期(R6~R9)							評価※ (達成率)
指標	出発点 (R4)	R6実績	R7実績 (4月~11月)	R7目標	R8目標	R9目標	
販売額	8,707万円	9,364万円	7,700万円	1億円	1.1億円	1.2億円	S (115.5%)

※R7(目標)に対するR7(実績)の達成見込み **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満

事業概要

春野地域のベルガモットをはじめとした農産物を活用した新たな加工品を開発するとともに、当該加工品の新たな販路を拡大し、農家所得の向上及び雇用の創出による地域の振興を図る。

主なスケジュール	R7	R8	R9
農産物の生産体制の整備		連携農家の掘り起こし	
	設備導入の検討		設備導入
加工品の販路拡大		各種商談会への参加	
		GI取得に向けた取り組みの実施	
新たなチャネルに向けた商品開発	品質等の研究	新商品の開発	新商品の販売

現状と課題

【現状】

- ・土佐ベルガモット協議会の設立(R7.7)
- ・生産拡大・リスクヘッジのために県内全域でのベルガモットの生産者(連携農家)の掘り起こし
- ・アドバイザー派遣(地産地消・外商課)による生産現場の改善及びHACCPの見直し
- ・県内外での各種セミナーや商談会への参加
- ・食品転用に向けたベルガモットエッセンシャルオイルの品質分析

【課題】

- ・輸出に向けたHACCP等の見直し
- ・ベルガモット果汁やエッセンシャルオイルの生産性向上に向けた設備機器等の速やかな導入
- ・増産を見据えた生産・販売体制の構築
- ・増産後のベルガモット果汁の販路のさらなる開拓
- ・ベルガモットエッセンシャルオイルを活用した新商品の開発

R8年度(第5期ver.3)における取り組みの内容

(1)農産物の生産体制の整備

- ・ベルガモット栽培技術の指導及び周知
- 拡**・新たな連携農家による生産面積拡大
- ・増産に対応するための設備機器(搾汁機・殺菌装置・オイル抽出装置等)の導入
- ・増産を見据えた人員確保

(2)加工品の販路拡大

- ・輸出に向けたHACCPの見直しの検討
- ・各種セミナーや商談会、海外展示会等への参加
- ・香料メーカーへの販路開拓
- ・OEM先との連携強化及び新規開拓
- ・外食産業(ホテル含む)への飲料製品の販売強化
- 新**・GI取得に向けた取り組みの実施
- 拡**・ベルガモット果汁の販路拡大

(3)新たなチャネルに向けた商品開発

- ・ベルガモットエッセンシャルオイルの品質及び安全性の分析
- 新**・ベルガモットエッセンシャルオイルの分析結果を踏まえた新商品の検討
- ・新素材の栽培、商品開発



[重点] APNo.10 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化

<高知市地域本部>

分野/実施地域	商工業 / 高知市
実施主体	◎高知市、◎出店者3組合ほか関係団体等
APへの位置付け	H28.4月

指標	出発点 (R4)	第5期(R6~R9)					評価※ (達成率)
		R6実績	R7実績 (4月~11月)	R7目標	R8目標	R9目標	
新規出店者数	14件	21件	8件	18件	19件	20件	D (66.7%)
れんけい小間売上高	-	1,571万円	833.6万円	810万円	820万円	830万円	S (154.4%)

※R7(目標)に対するR7(実績)の達成見込み **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満

事業概要

「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創出し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。

主なスケジュール	R7	R8	R9
街路市活性化のための事業推進	街路市活性化構想に基づいた事業の推進		
	公式Instagramの開設	HP・SNSにおける情報発信の強化	
れんけいこうち日曜市出店事業の推進	来客者増加に向けた事業の推進		
	酒類販売の規制緩和	出店基準の緩和の検討	

現状と課題

【現状】

- ・街路市活性化構想に基づいた事業の継続実施
- ・地域おこし協力隊の任用によるHP・SNSの情報発信の強化 → 街路市公式Instagramの開設
- ・産振アドバイザー制度を活用した助言・セミナー開催 (観光資源としての街路市の重要性について)
- ・街路市の食材を使った料理教室の開催
- ・お試しテントの積極的な貸出しに向けた貸出用テントの調達(クラウドファンディングを活用)
- ・街路市運営協議会、街路市活性化推進委員会の開催
- ・れんけい小間に限定した酒類販売の規制緩和

【課題】

- ・新規出店者の減少(出店基準を満たしていない)
- ・高知市以外のれんけい小間の有効活用 (出店回数の増加)

R8年度(第5期ver.3)における取り組みの内容

(1)街路市活性化構想の推進

- 街路市活性化構想(R7~R11)に基づく取り組み実施
- 拡**・出店基準の緩和の検討
- 拡**・地域おこし協力隊によるHP・SNSの情報発信の強化
- 新**・曜市150周年記念事業(イベントの実施、ロゴマークの公募等)
- 新**・専門アドバイザーなどによる助言・セミナー開催 (SNS講習会等：産振アドバイザー制度活用予定)
- 新**・チャレンジ出店の実施
- 新**・キャッシュレス決済の普及促進

(2)街路市活性化構想の見直し・フォローアップ

- ・街路市運営協議会における事業の実施に向けた協議
- ・街路市活性化推進委員会における事業の進捗管理及び事業に関する意見聴取

(3)れんけいこうち日曜市出店事業の推進

- ・来客者増加に向けた「れんけいこうち日曜市出店事業」の持続・発展
- ・日曜市への単独または輪番出店による観光及び地場産品のPRの実施
- 拡**・出店基準の緩和の検討



(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
農業	1	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎JA高知市 ・◎JA高知市三里園芸部花卉部会 需要の高いサザンウインドの生産拡大を進め、輸出を含めた実需者ニーズを満たす販売対策を強化し、日本一のグロリオサ産地の活性化と農家所得の向上を図る。	販売額	5.65億円	5.8億円	6.0億円	1 基本技術の徹底 ・秀品率の向上に向けた勉強会等の開催【3回(R7.5月、9月、11月)】 ・栽培技術支援【通年】 2 流通・販売対策(輸出) ・産地ビジョン策定と達成に向けた取り組み支援【通年】 ・花き展覧会や博覧会への出展【通年】 ・市場との定期的な販売会議の実施【通年】	1 基本技術の徹底 ・秀品率の向上に向けた勉強会等の実施 現地検討会の開催：1回(R7.5月) 勉強会の開催：1回(R7.9月) 目慣らし会の開催：1回(R7.11月) ・栽培技術支援 巡回指導：22回(R7.4月～11月) ネダニ対策における農業登録促進のための試験(農業技術センター)：2回(R7.4、5月) ハウス内環境測定データの収集(ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業) 高温対策としての遮熱資材の検討(高知市営農技術会議による実証試験)(R7.7月) 2 流通・販売対策(輸出) ・産地ビジョン策定と達成に向けた取り組み支援 産地ビジョン検討会：4回(R7.6月、8月、9月、10月) 産地ビジョンの策定(R7.11月) 産地提案書の紹介：2回(R7.6月、10月) 役員会で、産地提案書の作成が決定 産地提案書の作成にかかる合意(R7.11月) ・花き展覧会や博覧会への出展 なにわ花まつりへの出展：1回(R7.7.4) グロリオサ2大産地として東京での合同展示(R7.11月) ・市場との定期的な販売会議の実施 花き交流会への参加：1回(R7.7.11) ジンバブエ共和国との午餐会：1回(R7.7月) オランダ王国との交流(視察受入)：1回(R7.8.27) フラッグシップ輸出産地の説明会：1回(R7.5月) フラッグシップ輸出産地への登録(R7.12月) 関東市場との販売会議(R7.9.26) アメリカバイヤー・なにわ花いちば視察受入 (R7.12月)	5.72億円 (R6.9月～R7.8月) ・R7到達目標達成率：98.6% ・対前年同期比：101.2%	B	(成果) ・ネダニによる球根被害を抑えるための農業登録促進に向けた試験の協力を得て試験を実施した結果、登録に向けて準備が進んだ。 ・グロリオサの国内産地である愛知県渥美半島と協力した東京での合同展示によるPRにより、三里地区産グロリオサのさらなる認知度向上につながった。 ・フラッグシップ輸出産地への登録が完了し、輸出産地の拡大に向けて準備が進んだ。 (課題) ・産地ビジョンの目標達成 ・秀品率・生産量の向上 ・担い手の確保 ・グロリオサの流通・販売に向けたPR (今後の方向性) ・産地ビジョンの目標達成に向けた取り組み内容の検討・活動 ・秀品率・生産量の向上に向けた巡回指導や勉強会の実施 ・担い手確保に向けた支援体制の整備 ・展覧会、博覧会への出展によるPR活動 ・輸出促進に向けた取り組み	1 基本技術の徹底 ・秀品率向上に向けた勉強会等の開催【3回(R8.5月、9月、11月)】 ・栽培技術支援【通年】 2 流通・販売対策(輸出) ・産地ビジョンの目標達成に向けた取り組み【通年】 ・担い手確保に向けた支援体制の整備【通年】 ・花き展覧会や博覧会への出展【通年】 ・市場との定期的な販売会議【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】						【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】		【P(Plan)】			
分野	No.	項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況		R8計画	
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)		現状分析
農業	2	土佐山地域を核としたユズ産地の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市土佐山柚子生産組合 ・◎JA高知市 ・◎土佐山ファクトリー(協) ・◎旭フレッシュ(株) ・◎高知市 中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大と高品質化、スマート農業技術の導入、後継者の育成等により経営の安定を図る。	ユズ販売額	1.5億円 (R4)	1.7億円	1.9億円	1 安定生産 ・生産力強化に向けたスマート農業技術の活用【通年】 ・現地検討会や研修会等の実施【通年】 2 生産基盤の維持 ・担い手対策の検討及び実行【通年】	1 安定生産 ・スマート農業技術の活用支援 ドローン施肥試験結果共有：1回(R7.4月) ドローン防除補助制度周知：2回(R7.4月、6月) ドローン防除試験：1回(高知市営農業技術会議による実証試験)(R7.6月) →延べ防除面積：209a(R7.4月～9月) ・現地検討会や研修会等の実施 研修会：6回(R7.4月、6月、7月、9月) 2 生産基盤の維持 ・担い手の確保 新規就農者：1名(R7.4月～) ・新規就農者への栽培・経営管理支援：13回(R7.4～11月) ・新規就農者の確保に向けた検討：2回(R7.4月、5月) 地域おこし協力隊募集開始 R7.6月～一次募集 → 0人 R7.9月～二次募集 → 2人応募あり(採用0人) れんげいこうち就農相談会(大阪市)参加(R7.10月)	— (R8.2月以降に集計・公表)	—	(成果) ・就農相談者について、関係機関(高知市土佐山柚子生産組合、JA、市、県)が連携して対応し、新規就農者を1名確保できた。 (課題) ・省力化に向けたドローンの活用 ・今年度のユズの品質向上に向けた技術指導 ・担い手の確保・育成 (今後の方向性) ・ドローン防除の効果検証等のスマート農業技術の活用推進 ・栽培技術力向上に向けた防除等の研修会の実施 ・担い手確保・育成に向けた検討	1 安定生産 ・生産力強化に向けたスマート農業技術の活用【通年】 ・現地検討会や研修会等の実施【通年】 2 生産基盤の維持 ・担い手対策の検討及び実行【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
農業	3	有機農産物による土佐山地域の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎(一財)夢産地とさやま開発公社 ・連携農家 土佐山を今後100年にわたり豊かに継続させる「土佐山百年構想」に基づき、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心として、有機野菜等の生産と販売及び加工品の開発・販売の取り組みを通じて農家所得の向上と地域の振興を図る。	販売額 2.03億円 (R4)	2.20億円	2.23億円	2.45億円	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・有機栽培技術向上に向けた生産指導【通年】 ・ほ場及び人材の確保【通年】 ・担い手確保に向けた地域内連携の推進【通年】 2 農家の所得向上及び会社の経営体制の安定化 ・収益安定化に向けた事業継続【通年】 ・就業規則の改定【R7.9月～】 3 加工施設の高度化による販路拡大 ・取引先への定期的な情報提供【通年】 ・ひろめ市場店舗における情報発信の強化【通年】 ・商談会やイベントへの出展【通年】	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・有機栽培技術向上に向けた生産指導：1回(R7.5月) ・ほ場及び人材の確保 [ほ場] R6：581a → R7：709a [人材] R6：6人 → R7：7人 ・担い手確保に向けた地域内連携の推進 有機栽培研修会の開催(R7.9月) ・ゴズ苗木の供給 →1年苗3,000本、2年苗500本育成中 ・遊休地、連作農地での土づくり →新たにソルゴー栽培(50a)を開始 ・生姜輪作圃場の作付け →ニンニク 10a、ゴーヤ 7a、万次郎(カボチャ) 10aを作付け 2 農家の所得向上及び会社の経営体制の安定化 ・収益安定化に向けた事業継続 BAL土佐山：業務再委託(R7.8月～) とさやまストア：惣菜製造販売の導入に向けて試行(工場での弁当製造や惣菜原料商品の使用など)を継続(R6.7月～) ・従業員の新規雇用 工場：正職員を1人採用(R7.4月～) 「とさやま」(ひろめ市場店舗)：正職員店長の雇用(R7.5月～) ・就業規則の改定 70歳定年の導入の検討(R7.9月～) ・働き方改革推進 職務分析・職務評価による賃金体系の見直しの検討(R7.4月～) ・「とさやま」(ひろめ市場店舗)での新メニュー開発(R7.5月～) 3 加工施設の高度化による販路拡大 ・「とさやま」(ひろめ市場店舗)を県外バイヤーとの商談強化のアンテナ店と位置づけ 土佐山産品の商品提供による日常的な情報発信体制を強化 ・商談会やイベントへの出展 商談会：11回、イベント：5回 →新規取引先の増加 ・「とさやま」(ひろめ市場店舗)での新商品の開発・テスト販売	1.01億円 (R7.4月～9月) ・R7到達目標達成率：90.6% ・対前年同期比：113.5%	B	(成果) ・「とさやま」(ひろめ市場店舗)の体制強化・メニュー開発で、集客力が大幅にアップし、売上高の増加に寄与している。 売上高(とさやま)： 22,627,507円(R7.4～11月) 対前年同期比：222.4% ・商談会やイベントへ参加した結果、取引先が増加し、売り上げ増加に寄与している。 新規取引先の増加：18件 新商品開発：1件(テスト販売中) 雇用創出： 2人(「とさやま」店長、工場に各1人ずつ雇用) (課題) ・気候変動によるショウガ他の収量減少 ・担い手の高齢化と後継者の不在 ・とさやまストア、工場の赤字改善 (今後の方向性) ・有機栽培技術の向上による収量・売上拡大 ・新規就農者の経営確立に向けた営農販売支援の強化 ・とさやまストアの一部惣菜の自社製造による集客力向上の検討 ・自社製品及びOEMの原価見直しによる利益率の向上	1 有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大 ・有機栽培技術向上に向けた生産指導【通年】 ・ほ場及び人材の確保【通年】 2 農家の所得向上及び会社の経営体制の安定化 ・経営安定化に向けた事業継続【通年】 ・実績に基づく製造計画の検討、販売額向上に向けた協議【通年】 3 加工施設の高度化による販路拡大 ・取引先への定期的な情報提供【通年】 ・商談会やイベントへの出展【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
農業	4	直販店を核とした鏡地域の活性化 (高知市) 【実施主体】 ・◎鏡村直販店組合 「鏡むらの店」 鏡村直販店組合「鏡むらの店」 (万々店、リオ店)は組合員により 主に鏡地域の野菜や果物が出荷 されている。同組合と関係機関が 連携して栽培推進品目を選定し、 積極的な栽培支援による生産力 向上や、販売強化の支援を進め、 売上高及び組合員の所得向上を 目指す。	売上高 暦年 1.29億円 (R4)	1.18億円	1.25億円	1.35億円	1 推進品目の栽培推進 ・気候変動や生産者の状況に応じた品目の 推進【通年】 ・栽培意欲の向上に向けた生産者への 出荷状況のフィードバック【通年】 ・直販所出荷に適した品目の栽培試験 【R7.4月～】 2 販売・経営対策 ・出荷品目・出荷量の増加に向けた 特別組合員制度(チャレンジ出荷枠) の周知【通年】 ・新規組合員の確保に向けた組合員要件 緩和の検討【通年】 ・他直販店等の地域外からの商品確保の検討 及び実践【通年】 ・財務分析等に基づいた経営体制の 見直し【通年】 ・イベントの実施に向けた商品の確保【通年】	1 推進品目の栽培推進 ・販売実績の共有、今後の取り組みについての協議及び推進 チーム会：5回(R7.4.23、R7.6.25、R7.8.20、 R7.10.22、R7.12.10) ・ナス切り戻し栽培の試験ほ場設置(R7.4月～11月) ・生産者への出荷状況のフィードバック 2 販売・経営対策 ・特別組合員制度(チャレンジ出荷枠)の周知 →4戸が出荷を開始し、出荷品目が増加 ・財務アドバイザーによる経営分析の支援：チーム会 4回 (R7.4.23、R7.6.25、R7.8.20、R7.12.10)	1.10億円 (R7.1月～11月) ・R7到達目標達成率：96.0% ・対前年同期比：103.7%	B (成果) ・特別組合員制度(チャレンジ出荷枠)を4戸が利用し、出荷を開始し たことで、出荷品目の充実につながっている。 (課題) ・新規組合員(出荷者)の確保 ・農産物の出荷品目・出荷量の減少 (今後の方向性) ・新規組合員の確保に向けた組合員要件緩和の検討 ・特別組合員制度(チャレンジ出荷枠)の周知と生産者確保 ・他直販店等の地域外からの商品確保 ・イベントの実施に向けた商品の確保	1 推進品目の栽培推進 ・気候変動や生産者の状況に応じた品目の 推進【通年】 2 販売・経営対策 ・出荷品目・出荷量の増加に向けた 特別組合員制度(チャレンジ出荷枠) の周知【通年】 ・新規組合員の確保に向けた組合員要件 緩和の検討【通年】 ・他直販店等の地域外からの商品確保の検討 及び実践【通年】 ・財務分析等に基づいた経営体制の 見直し【通年】 ・イベントの実施に向けた商品の確保【通年】	
農業	5	加工品充実による直販所の活性化と食の伝承 (高知市) 【実施主体】 ・◎JA高知市女性部直販部会 (直販所「真心ふぁーむらぶ」) ・◎加工組織なるクラブ JA高知市の直販所「真心ふぁー むらぶ」において、地域の農産物に 加え、加工組織「なるクラブ」が開 発・製造した商品を販売すること で、地産地消を推進する。 また、商品開発や地域住民の農 業への関心を高める取り組みによ り、地域農産物の消費拡大と田舎 寿司などの伝統食の伝承を図る。	売上高 暦年 9,064万円 (R4)	9,925万円	1億円	1億円	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・運営体制の見直し及びレイアウトの改善 の検討【通年】 ・会員要件の緩和や直販所交流による 商品数の充実【通年】 ・出荷品目・出荷量増加に向けた 栽培講習会等の実施【通年】 2 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 ・消費者ニーズを踏まえた既存商品の見直し 【通年】 ・財務分析や売上げ実績に基づく製造計画 及び人員体制の見直し【通年】	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・レイアウト改善と什器入れ替え ・冷蔵ショーケース交換(R7.6月) ・レイアウト変更、自動ドア導入工事(R7.7月～9月) ・会員要件の緩和 →新規男性組合員：4名(R7.12月時点) 2 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 ・出荷実績に基づく製造計画の検討、販売額向上に向けた協議 ：チーム会 5回(R7.5.12、R7.7.14、R7.9.17、 R7.11.10、R8.1.13) ・目玉商品によるフェアの実施 ・財務アドバイザーによる財務分析とフィードバック ：チーム会 3回(R7.7.14、R7.11.10、R8.1.13) ・原価計算検討会(R7.11月) 商品内容の見直し(R7.11月～) 価格改定(R7.12月～)	1.11億円 (R7.1月～12月) ・R7到達目標達成率：111.0% ・対前年同期比：111.8%	S (成果) ・目玉商品のフェア等を実施することで、JA支所の行事用弁当の注文 数減少による売上げへの影響をカバーすることができた。 (R7.1月～12月の売上高の対前年同期比 111.8%) (課題) ・JA支所の行事縮小に伴う弁当需要の減少(なるクラブ) ・原材料費高騰に伴う経費の上昇(なるクラブ) (今後の方向性) ・目玉商品フェアの継続 ・原材料価格を反映させた販売価格、商品内容の検討	1 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 ・会員要件の緩和や直販所交流による 商品数の充実【通年】 2 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 ・消費者ニーズを踏まえた既存商品の見直し 【通年】 ・財務分析や売上げ実績に基づく製造計画 及び人員体制の見直し【通年】 ・原材料価格を反映させた販売価格、商品 内容の検討【通年】	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
林業	6	イタダリの増産による中山間地域の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知県イタダリ生産普及販売促進協議会 ・連携農家 出荷量において全国一であり、一般的に県内で食されているイタダリを販売拡大していくため、栽培イタダリの県内産地を拡大するとともに、新商品の開発等を行うことにより高知県産イタダリのブランドを確立し、中山間地域における所得の向上を図る。	加工品の販売額 254万円 (R4)	534.3万円	415万円	500万円	1 イタダリの安定生産 ・苗の販売等による耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大【通年】 ・皮剥ぎ機の改良【通年】 ・皮剥ぎの補助具の開発に向けた検討【通年】 2 組織体制の強化 ・生産者・加工者等の情報交換会の開催【R7.8月】 ・生産体制の見直し【通年】 3 販路拡大 ・量販店やアンテナショップでの加工品の販売【通年】 ・常温流通できる加工品の生産拡大【通年】 ・特許技術を活用したPR【通年】 ・展示会等への出展【通年】 ・イタダリ葉の採取試験の実施【R7.8月】	1 イタダリの安定生産 ・平場での生産に向けた「鏡1号」の苗の販売拡大：3件(R7.1月～3月) ・皮が剥ぎやすく、収量の多い品種の選抜 ・皮剥ぎ機の改良に向けた検討 2 組織体制の強化 ・生産者・加工者等の情報交換会の開催：1回(R7.8.29) ・生産体制の見直しに向けた取り組みの検討 3 販路拡大 ・量販店やアンテナショップへの加工品の販売 ・常温流通できる加工品を大阪・関西万博のイベントで販売(R7.8月) ・イタダリ葉の採取等にかかる試験の実施：2回(R7.8.29、R7.9.17)	382.8万円 (R7.4月～11月) ・R7到達目標達成率：138.4% ・対前年同期比：76.4%	S	(成果) ・平場での生産に向けた「鏡1号」の苗の販売を行ったところ、3件の購入があった。 ・生産拡大を目指し、皮が剥ぎやすく収量の多い品種の配布に向けた取り組みが進んでいる。 (課題) ・生イタダリの生産量の確保 ・収穫及び皮剥ぎの人手不足 (今後の方向性) ・平場でのさらなる生産拡大 ・皮が剥ぎやすく、収量の多い品種の配布	1 イタダリの安定生産 ・平場でのさらなる生産拡大【通年】 ・皮が剥ぎやすく収量の多い品種の配布及び植え付け【通年】 2 組織体制の強化 ・生産者・加工者等の情報交換会の開催【R8.6月】 ・生産体制の見直し【通年】 3 販路拡大 ・量販店やアンテナショップでの加工品の販売【通年】 ・常温流通できる加工品の生産拡大【通年】 ・特許技術を活用したPR【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】						【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】		
分野	No.	項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	7	農産物の6次産業化による春野地域の振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎(有)スタジオ・オカムラ ・連携農家 春野地域のベルガモットをはじめとした農産物を活用した新たな加工品を開発するとともに、当該加工品の新たな販路を拡大し、農家所得の向上及び雇用の創出による地域の振興を図る。	販売額	9,364万円	1億円	1.2億円	1 農産物の生産体制の整備 ・ベルガモット栽培技術の指導及び周知【通年】 ・新たな連携農家による香料原料の生産面積拡大【通年】 ・増産に対応するための設備機器(搾汁機・殺菌装置・オイル抽出装置等)の導入に向けた検討【通年】 ・増産を見据えた人員確保の検討【通年】 2 加工品の販路拡大 ・輸出に向けたHACCPの見直しの検討【通年】 ・各種セミナーや商談会、海外展示会等への参加【通年】 ・香料メーカーへの販路開拓【通年】 ・OEM先との連携強化及び新規開拓【通年】 ・外食産業(ホテル含む)への飲料製品の販売強化【通年】 3 新たなチャネルに向けた商品開発 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの品質及び安全性の分析【通年】 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの分析結果を踏まえた新商品の検討【通年】 ・新素材の栽培、商品開発【通年】	1 農産物の生産体制の整備 ・既存生産者によるベルガモット栽培技術の指導 ・土佐ベルガモット協議会の設立(R7.7.7) ・生産拡大・リスクヘッジのために県内全域でのベルガモットの生産者(連携農家)の掘り起こし →ベルガモットの生産者(連携農家): 6戸(R6年度末時点)→12戸(R7.12月時点) ベルガモット生産面積: 50a(R7.1月時点)→1.5ha(R7.12月時点) 2 加工品の販路拡大 ・生産現場の改善及びHACCPの見直し(生産性向上推進アドバイザー派遣(地産地消・外商課))(R7.6月～) ・県内外での各種商談会への参加:6回(R7.4月、6月、7月、9月、10月) ・輸出に向けたセミナーへの参加:1回 ・高知酢みかんフェアの開催(R7.9月) ・GI取得に向けた取り組みの実施(GIアドバイザー(農林水産省)のサポート支援) ・まると高知でのテストマーケティング(R8.1月予定) 3 新たなチャネルに向けた商品開発 ・食品転用に向けたベルガモットエッセンシャルオイルの品質及び安全性の分析	7,700万円 (R7.4月～11月) ・R7到達目標達成率:115.5% ・対前年同期比:115.8%	S	(成果) ・土佐ベルガモット協議会を設立し、県内全域で生産者の掘り起こしに向けて説明会を行ったところ、新規生産者が増加し、ベルガモット生産面積も拡大している。 (課題) ・輸出に向けたHACCP等の見直し ・ベルガモット果汁やエッセンシャルオイルの生産性向上に向けた設備機器等の速やかな導入 ・増産を見据えた生産・販売体制の構築 ・増産後のベルガモット果汁の販路のさらなる開拓 ・ベルガモットエッセンシャルオイルを活用した新商品の開発 (今後の方向性) ・輸出に向けたHACCPの見直しの検討 ・設備機器導入等に向けた資金調達 ・増産を見据えた人員確保の検討 ・輸出に向けた各種セミナーや商談会等への参加 ・増産を見据えたベルガモット果汁の販売チャネルの確立 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの分析結果を踏まえた新商品の検討	1 農産物の生産体制の整備 ・ベルガモット栽培技術の指導及び周知【通年】 ・新たな連携農家による生産面積拡大【通年】 ・増産に対応するための設備機器(搾汁機・殺菌装置・オイル抽出装置等)の導入【通年】 ・増産を見据えた人員確保【通年】 2 加工品の販路拡大 ・輸出に向けたHACCPの見直しの検討【通年】 ・各種セミナーや商談会、海外展示会等への参加【通年】 ・香料メーカーへの販路開拓【通年】 ・OEM先との連携強化及び新規開拓【通年】 ・外食産業(ホテル含む)への飲料製品の販売強化【通年】 ・GI取得に向けた取り組みの実施【通年】 ・ベルガモット果汁の販路拡大【通年】 3 新たなチャネルに向けた商品開発 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの品質及び安全性の分析【通年】 ・ベルガモットエッセンシャルオイルの分析結果を踏まえた新商品の検討【通年】 ・新素材の栽培、商品開発【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	8	竹資源活用による環境配慮型産業の推進 (高知市) 【実施主体】 ・◎(株)コスモ工房 ・◎(同)高知竹材センター 県産竹材を活用した素材生産を 拡大することにより、森林保全と環 境配慮型産業の推進を図る。	売上高 (コスモ工房)	7,970.4 万円	8,000 万円	8,000 万円	1 県産竹材を活用した素材の安定生産 ・原竹の確保に向けた納入業者との調整【通年】 ・原竹の着実な納入による集成材の 円滑な生産【通年】	1 県産竹材を活用した素材の安定生産 ・大阪・関西万博のパビリオンへの集成材の供給(R6年度) ・県外からの集成材の注文：4件 ・竹粉のおがくずの利用試験開始(R7.1月～) ・竹材利用促進事業費補助金(木材産業振興課所管)の 説明会への参加(R7.7.2) ・竹材利用促進事業費補助金の活用に向けた申請準備 ・木材産業振興課主催の研修・セミナーへの参加：2回 (竹資源活用推進研修会：R7.6.6、 竹資源活用推進セミナー：R7.7.31) ・産学官連携による竹資源の有効活用の推進に向けた 「高知県竹資源活用推進プラットフォーム(R7.7.31 設立)」 の立ち上げに参加	8,124.7万円 (R7.1月～12月)	A (成果) ・県内のみならず、県外からの集成材の注文対応も行って、新規 取引先の獲得につながった。 (課題) ・安定した良質な原竹の確保 (今後の方向性) ・原竹の確保の仕組みづくりの検討 ・竹材利用促進事業費補助金の申請	1 県産竹材を活用した素材の安定生産 ・原竹の確保に向けた納入業者との調整【通年】 ・竹材利用促進事業費補助金の活用による 原竹の確保【通年】 ・原竹の着実な納入による集成材の円滑な 生産【通年】 ・集成材の販路開拓【通年】	
			暦年 6,767万円 (R4)	212万円	724万円	844万円	2 県産竹材の供給体制構築及び販路開拓 ・竹素材の持続的な供給に向けた竹林整備 ・新材料への活用に向けた原竹の納入体制の 確立	2 県産竹材の供給体制構築及び販路開拓 ・五台山東孕地区の竹林整備 ・竹を原料とした複合材料への活用に向けた原竹の納入調整	90.5万円 (R7.2月～11月)		D (成果) ・五台山東孕地区の竹林整備の見通しが立った。(R7年度中に終了 予定) (課題) ・竹林整備の新たな土地の確保 ・竹を原料とした複合材料への活用に向けた原竹の確保 (今後の方向性) ・竹林整備の新たな土地の開拓 ・竹を原料とした複合材料への活用に向けた原竹の納入調整 ・四方竹の生産に向けた準備	2 県産竹材の供給体制構築及び販路開拓 ・原竹の持続的な供給に向けた竹林整備 【通年】 ・竹を原料とした複合材料への活用に向けた 原竹の納入体制の確立【通年】 ・四方竹の生産に向けた土地の整備【通年】
売上高 (高知竹材 センター) 2月～1月 419万円 (R4)						・R7到達目標達成率：101.6% ・対前年比：101.9%						

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	9	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・高知市商店街振興組合連合会 ほか関係団体 高知市中心市街地活性化基本計画に基づき、多様な主体の参画のもとに、中核市として賑わいと活力ある中心市街地の形成を目指し、都市機能の増進と経済活力の向上を図る。	空き店舗率	15.2%	14.9%	14.4%	1 高知市中心市街地活性化基本計画の推進 ・空き店舗を活用した創業支援サポート事業【通年】 ・おまち多目的広場活用事業【通年】 ・商店街等人流分析事業【通年】 ・商店街イベント事業【通年】 ・外国人観光客の受入おもてなし事業【通年】 ・中心市街地空き店舗ツアー事業(産振補助金(ステップアップ事業)活用予定)【R7.10月以降(予定)】 ・タウンモビリティ事業(中心市街地バリアフリー情報発信事業)【R7.10月～】	1 高知市中心市街地活性化基本計画の推進 ・空き店舗を活用した創業支援サポート事業の実施(高知市空き店舗活用創業支援事業) → 支援実績：8件(家賃補助) ・おまち多目的広場活用事業 → 貸付実績：23件 ・商店街等人流分析事業 取得したデータについて分析を行い、個店の経営改善や、商店街全体の活性化に向けた事業展開について検討 ・商店街イベント事業 「おびさんマルシェ」「土曜夜市」「高知大道芸フェス」の開催 → 中心商店街への来街者数の増加に寄与 ・外国人観光客の受入おもてなし事業 外国客船寄港時における臨時観光案内所の開設やツアーバス受入時における中心市街地駐車場の整備・渋滞対策の実施 ・中心市街地空き店舗ツアー事業 参加者募集中(R8.2.16 はりまや橋商店街にて実施予定) ・タウンモビリティ事業(中心市街地バリアフリー情報発信事業)バリアフリーまっぷの作成に向けて、現地確認中	— (R8.2月上旬に集計・公表予定)	—	(成果) ・第三期計画(R5.4～R10.3)搭載59事業のうち、「事業完了」が5事業、「事業実施中」が54事業(進捗率100%)となり、順調に進んでいる。 (課題) ・営業店舗数や新規出店数の伸び悩み ・インバウンド対策 (今後の方向性) ・中心商店街空き店舗ツアーの実施 ・商店街でのイベント実施 ・おまち多目的広場の利活用 ・外国人観光客増加に対応するインバウンド対策の検討	1 高知市中心市街地活性化基本計画の推進 ・おまち多目的広場利活用事業【通年】 ・商店街イベント事業【通年】 ・シェアサイクル事業【通年】 ・空き店舗を活用した創業支援サポート事業【通年】 ・外国人観光客の受入おもてなし事業【通年】
				114,913人	120,064人	128,004人						
105,613人 (R4)												

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	10	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・◎出店者3組合ほか関係団体等 「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創出し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。	新規 出店者数 14件 (R4)	21件	18件	20件	1 街路市活性化構想の推進 街路市活性化構想(R7～R11)に基づく取り組み実施 ・出店基準緩和の検討【通年】 ・地域おこし協力隊の任用によるHP・SNSの情報発信の強化【通年】 ・専門アドバイザーなどによる助言・セミナー開催(産振アドバイザー制度活用予定)【R7.11月～】 ・チャレンジ出店の実施【通年】 ・街路市の食材を使った料理教室の開催【R7.10月】 ・キャッシュレス決済の普及促進【通年】	1 街路市活性化構想の推進 ・地域おこし協力隊の任用によるHP・SNSの情報発信の強化 → 地域おこし協力隊の任用：1名(R7.4.1～) → 街路市公式Instagramの開設(R7.7月～) ・専門アドバイザーなどによる助言・セミナー開催(産振アドバイザー制度の活用) 観光資源としての街路市の重要性についてのセミナー開催(R7.12.1) ・チャレンジ出店の実施 高知商業高校によるチャレンジ出店小間の開設(プレ出店) ・街路市の食材を使った料理教室の開催(R7.10.13) ・お試しテントの積極的な貸出しに向けたクラウドファンディングでの貸出用テントの調達	8件 (R7.4月～11月) ・R7到達目標達成率：66.7% ・対前年同期比：61.5%	D	(成果) ・地域おこし協力隊を任用し、新たに街路市公式Instagramを開設したことにより、情報発信の強化が図られた。 【Instagram フォロワー数：1,115人(R7.11月末時点)】 ・れんけい高知市小間の上半期申込はほぼ埋まっており、好評である。 ・れんけい小間での条件つき酒類販売を開始し、売上もよく出店者にも好評である。 (課題) ・新規出店者の減少(出店基準を満たしていない) ・高知市以外のれんけい小間の有効活用(出店回数の増加) (今後の方向性) ・街路市活性化構想に基づく取り組みの実施とフォローアップ ・出店基準緩和の検討 ・れんけい小間における出店機会の増加に向けた市町村単独出店の支援	1 街路市活性化構想の推進 街路市活性化構想(R7～R11)に基づく取り組み実施 ・出店基準の緩和の検討【通年】 ・地域おこし協力隊によるHP・SNSの情報発信の強化【通年】 ・曜日150周年記念事業(イベントの実施、ロゴマークの公募等)【通年】 ・専門アドバイザーなどによる助言・セミナー開催(SNS講習会等：産振アドバイザー制度活用予定) ・チャレンジ出店の実施【通年】 ・街路市の食材を使った料理教室の開催 ・キャッシュレス決済の普及促進【通年】
							2 街路市活性化構想の見直し・フォローアップ ・街路市運営協議会における事業の実施に向けた協議【年1回以上、R7.9月以降】 ・街路市活性化推進委員会における事業の進捗管理及び事業に関する意見聴取【年2回】	2 街路市活性化構想の見直し・フォローアップ ・街路市運営協議会における事業の実施に向けた協議：1回(R7.10.21) ・街路市活性化推進委員会の開催：1回(R7.7.29)				833.6万円 (R7.4月～11月) ・R7到達目標達成率：154.4% ・対前年同期比：109.7%

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

【P(Plan)】						【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】		
分野	No.	項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	11	地域資源の磨き上げと創出による観光振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・(公社)高知市観光協会 ・(特非)土佐観光ガイドボランティア協会 ・桂浜公園指定管理者 ・五台山公園整備事業者 ・その他関係団体等 自然や歴史、文化等、高知市が誇る数多くの観光資源の磨き上げや連携等により新たな魅力の創出を図る。また、高知の強みを活かした新たな観光資源の発掘に取り組み、高知県内の周遊拠点都市の役割を担うことにより、県内での周遊や消費を促し、さらなる観光振興を図る。	高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数	106万人泊	125万人泊	127万人泊	1 周遊促進と新たな需要の開拓 ・こうち観光ナビ turistセンターの運営【通年】 ・高知トラベルコンパスでのデジタルプロモーションの実施(Instagramキャンペーンの実施等)【通年】 ・高知市・ものべがわエリア地域周遊キャンペーンの実施【通年】 ・「高知ユナイテッドSC」と連携した高知観光PRの実施【通年】	1 周遊促進と新たな需要の開拓 ・こうち観光ナビ turistセンターの運営(通年) ・高知トラベルコンパスの運用(通年) → 登録スポット数：1,000件、エリア特集の掲載：9エリア ・高知トラベルコンパスにおけるInstagramキャンペーンの実施(R7.8.1～R7.10.26) ・高知市・ものべがわエリア地域周遊キャンペーンの実施 → 高知市出身の絵本作家柴田ケイコ氏が描き下ろしたオリジナルキャラクター「ぼうれいファミリー」を使った周遊キャンペーン「ぼうれいファミリー」の実施 クイズ&スタンプラリー(R7.4.1～R7.10.31)、ARフォトスポット・ハッシュタグキャンペーン(R7.4.1～R8.1.25) ・「高知ユナイテッドSC」と連携した高知観光PRの実施 → 各試合での観光PRブースの設置、観光パンフレット等の配布、ホーム戦の観戦チケットや市内ホテル宿泊券が当たる抽選会の実施 「FC岐阜戦」(R7.6.1：岐阜県岐阜市)、 「SC相模原戦」(R7.6.14：神奈川県相模原市)、 「アスルクラロ沼津戦」(R7.7.5：静岡県沼津市)、 「カマタマーレ讃岐戦」(R7.7.19：香川県丸亀市)、 「ガイナレ鳥取戦」(R7.8.16：鳥取県鳥取市) ・Instagramでの情報発信(通年、週3回程度)	— (R8.4月以降に集計・公表予定)	—	(成果) ・こうち観光ナビ turistセンターの運営により、圏域内の観光情報の提供や地場産品のPR等を効果的に進めることができ、増加する国内外からの観光客の利便性や満足度の向上につながっている。 こうち観光ナビ・turistセンター利用者数(実相談者数)： 12,568人(R7.4月～10月)、対前年同期比 116.1% ・高知トラベルコンパスの登録スポット数やエリア特集を充実させることにより、旅マエにおける旅行計画の利便性の向上及び旅マエ・旅ナカにおける圏域内周遊促進につながっている。 ・高知トラベルコンパスにおけるInstagramキャンペーン 投稿数：1,207件、ユーザー：149名 (対前年比 投稿数：約100件減、ユーザー：約20名増) ・「高知ユナイテッドSC」と連携した観光PRの実施により、抽選会の当選者やパンフレットを見た県外観光客の誘客が見込まれる。 ・Instagramでの定期的な情報発信やイベントに合わせてPRを行った結果、フォロー数が増加し、情報発信が強化されている。 【12,668人(R7.3.31時点) → 16,535人(R7.10.31時点)】 (課題) ・観光客の周遊促進と消費拡大 ・高知ならではの観光魅力発掘と活用 ・施策効果を高めるPR (今後の方向性) ・観光案内の充実や受入体制の強化(こうち観光ナビ turistセンターの運営、高知トラベルコンパスの運用) ・文化、スポーツ、歴史を組み合わせた観光需要の喚起と新たなコンテンツの定着の推進(「ぼうれいファミリー」や「高知ユナイテッドSC」と連携した観光PR、龍馬生誕190周年事業等) ・インターネットやSNS等を活用した効果的なプロモーションの実施	1 周遊促進と新たな需要の開拓 ・こうち観光ナビ turistセンターの運営【通年】 ・高知トラベルコンパスの運用【通年】 ・「高知ユナイテッドSC」と連携した高知観光PRの実施【通年】 ・ぼうれいファミリーを活用した観光プロモーションの実施【通年】 ・Instagramでの情報発信【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	13	桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎高知市 ・◎(株)はりま家 ・民間事業者 県内最大の観光施設である桂浜公園を、自然景観と歴史資源を生かした学びや憩い、楽しみが溢れる公園として整備し、国内外からの観光入込客数の増加を図る。 また、桂浜公園の魅力アップによる集客効果にあわせて観光案内機能を強化することにより、県内各地への周遊を促進する。	桂浜公園 来園者数 暦年 580,995人 (R4)	653,604人	830,000人	870,000人	1 桂浜公園整備 ・大型連休やイベント実施時等の道路渋滞対策の検討及び実施【通年】 ・イベント実施による賑わい創出及びナイトタイムエコノミーの推進【通年】 ・基本計画に基づいた施設整備の推進【通年】 ・観光情報の充実化【通年】 ・市内にある観光施設とのタイアップ【通年】 ・民間活力の導入による国民宿舎桂浜荘の利活用 2 船着き場整備 ・津波防波堤整備の実施(四国地方整備局)	1 桂浜公園整備 ・イベントの実施 桂浜潮騒フェスティバル(R7.4.13) 桂浜坂本龍馬像生誕祭(R7.5.25) フリーダム桂浜(R7.7.13) HAMAYOSA桂浜よさこいの日(R7.9.28、R7.11.24) 桂浜親月の宵(R7.10.6) 桂浜海のハロウィン(R7.10.25,26) 桂浜海のクリスマス(R7.12.13) ・大型連休やイベント開催時等の道路渋滞対策の検討及び実施(通年) ・基本計画に基づいた施設整備の推進(通年) ・観光情報の充実化(通年) ・市内にある観光施設とのタイアップ(通年) ・Park-PFIを活用した旧国民宿舎桂浜荘の施設整備に向けた事業者との調整 2 船着き場整備 ・津波防波堤整備の実施(四国地方整備局)	563,970人 (R7.1月～10月) ・R7到達目標達成率：81.5% ・対前年同期比：102.0%	C	(成果) ・定期的なイベントの実施により、来園者数の確保につながった。 ・GW期間中の桂浜周辺の渋滞対策を実施したことで、渋滞が緩和された。 (課題) ・大型連休やイベント実施時等の道路渋滞対策 ・公園全体の回遊性の向上や新たな賑わいづくり ・観光情報の充実化【通年】 ・市内にある観光施設とのタイアップ【通年】 ・公園を起点とした市内観光スポットへの周遊促進 ・旧国民宿舎桂浜荘再開に向けた施設整備 (今後の方向性) ・桂浜公園の駐車場の台数制限や狭隘な周辺道路による旅行客や周辺住民への影響緩和に向けた大型連休等における渋滞対策の継続実施 ・来園者数の増加に向けたイベントの実施やナイトタイムエコノミーの推進による回遊性の向上や新たな賑わいづくり ・市内にある観光施設とのタイアップや観光情報の充実化等による周遊拠点としての機能強化及び県内各地への周遊促進 ・Park-PFIを活用した旧国民宿舎桂浜荘の運営再開による公園全体の魅力向上	1 桂浜公園整備 ・大型連休やイベント実施時等の道路渋滞対策の検討及び実施【通年】 ・イベント実施による賑わい創出及びナイトタイムエコノミーの推進【通年】 ・観光情報の充実化【通年】 ・市内にある観光施設とのタイアップ【通年】 ・民間活力の導入による旧国民宿舎桂浜荘の整備 2 船着き場整備 ・津波防波堤整備の実施(四国地方整備局)
観光	14	遊覧船による浦戸湾の観光振興 (高知市) 【実施主体】 ・◎(株)土佐レジン 浦戸湾を活用した観光遊覧船の取り組み等により県内外からの観光客の誘客を図る。	観光遊覧船 の乗船客数 1,266人 (R4)	1,110人	—	2,000人	1 遊覧コースの拡充による魅力向上 ・当面の間(R8.3.31まで)の事業継続の周知【通年】 ・遊覧コース及び乗降地の拡充に対応した受入体制の充実【通年】 ・料金体系等メニューの見直し【通年】 2 県内外へのPR活動 ・HPやSNS、観光情報誌への掲載等による情報発信【通年】 ・イベント参加による遊覧船の認知度向上【R7.11月】	1 遊覧コースの拡充による魅力向上 ・お花見遊覧の実施(R7.3.25～R7.4.9) → 県内：396人、県外：84人、海外：8人 ・浮桟橋の事業継続 → 目的外使用許可業者として決定(R7.6月～R8.3月) ・県関係部署(観光振興スポーツ部、港湾・海岸課、高知土木事務所)との協議(R7.4月～11月) ・乗降地の拡大に向け、地元住民や関係者との協議を実施(R7.5.28、R7.6.23、R7.6.27、R7.7.7、R7.8.6、R7.9.12、R7.10.5、R7.10.28、R7.11.20、R7.12.14) 2 県内外へのPR活動 ・メディアやSNSでのPR実施(通年) ・パンフレットの設置 とさのさと、高知龍馬空港、SUPER LOCAL SHOP とさのさと(R7.5月～) ・福祉施設児童を対象とした無料招待イベントの実施(R7.7.23～25) → 児童88人参加 ・みませ祭りでのワンコインクルーズの実施(R7.11.2) → 県内：111人	1,287人 (R7.4月～11月) ・R7到達目標達成率：— % ・対前年同期比：158.2%	—	(成果) ・現浮桟橋の適正な管理のもとでの事業継続を行うことができた。 (課題) ・乗降地の拡充 (今後の方向性) ・乗降地の拡充に向けた地元住民・関係者との調整	1 遊覧コースの拡充による魅力向上 ・遊覧コース及び乗降地の拡充に対応した受入体制の充実【通年】 ・料金体系等メニューの見直し【通年】 ・乗降地の拡充に向けた地元住民・関係者との調整【通年】 2 県内外へのPR活動 ・HPやSNS、観光情報誌への掲載等による情報発信【通年】 ・イベント参加による遊覧船の認知度向上【R8.11月予定】